

自己評価報告書

(評価対象期間：令和6年度)

令和7年5月報告

名古屋美容専門学校

1 名古屋美容専門学校 教育理念

美容に必要な基礎教育と専門的実践教育を行い、豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。

2 名古屋美容専門学校 教育目標

美容師としての志を高く持ち、社会人として必要な素養、プロフェッショナルとしての自覚、専門知識・技術、教養を備え、美容業界の将来を担う人材育成を目指す。

3 自己評価

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
a 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
b 学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
c 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
d 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
e 学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

<現状>

a、d: 本校の教育理念・教育目標・教育方針・アドミッションポリシーはHP、学校案内、募集要項で開示。特に育成する人物像に関してはOPEN CAMPUSの際に徹底して周知している。

b: 国家試験の合格は大前提として、売れる美容師になるための新カリキュラムを令和5年度から導入。業界との接点を多く設け、セルフブランディング力の向上に注力している。

c、e: 少子高齢化・18歳人口の減少の中、美容師としての高い志を持った学生の育成やサロンに支持される学校であるべく、教育の質の向上を第一義としている。

<課題、今後の方策、特記事項>

目標とする教育の質の向上に対して、教職員の質の向上は不可欠となる。専任教員は学校運営、学習指導、生活指導、進路指導に注力し、国家試験以外の専門スキルについては、現役美容師の協力のもとスキル向上に努めている。令和5年度から導入したカリキュラムの検証と常に時代の変化と学生ニーズに合わせた継続的な改善を必須とする。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
a 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
b 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
c 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	4	3	2	1
d 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	3	2	1
e 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
f 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
g 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
h 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

<現状>

a～f: 理事会で決定した法人の方針に基づいて、中長期計画、事業計画、学校運営を実施。学校を運営するための規程や規則についても随時整備しており、適切に実施している。

g: シラバスはHP上で公開。保護者に対して意見を収集する専用アドレスを設置。成績表の送付や行事等の特記事項をメールで配信。日頃の授業や行事の様子もSNSを通して公開している。

h: 各種アンケートや定期試験はマークシート方式とし、業務の効率化を図っている。また、アンケートの一部についてはWeb回答、自動集計のソフトを使用。履修簿もデータ管理としている。

<課題、今後の方策、特記事項>

学校運営については法令に沿った取り組みと社会の時代背景に合わせた内容が適切と考えている。情報システムについては利便性と学内の課題を解決できる体制が必要であり、令和7年度から出欠・成績管理において校務システムを導入。正確性と業務の向上と学生サポートの強化を図る。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
e 関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
f 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
g 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
h 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4 3 2 1
i 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
j 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1
k 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
l 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
m 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

<現状>

a～c: 各教科の到達目標はシラバスに示し授業を進めている。内規も整備済みであり、シラバスや成績評価、単位認定などをハンドブックに記載し、学生・保護者に告知している。

d,e,g: 1年時はサロンクリエイションの授業で人気の美容師が実践的な授業を実施。サロンの人事担当者が講師となり模擬面接の授業を実施。サロンの現場でインターシップ研修を実施。

f: 教員の指導力を測るため、学生による授業改善アンケートを実施。

h: 明確にしており、学生ハンドブックに記載し学生に開示している。

i～k: 十分に改善しているとは言えないが、令和6年度は新規教員を1名採用。

l, m: 教員研修は随時行っており、令和6年度は、オリンピックコーチ(愛知産業大学: 新海先生)を招いて「スポーツの現場から見た学生指導について」の教員研修を実施。

<課題、今後の方策、特記事項>

・教育活動の向上については以下を整備する。

学生による授業アンケートの改善。

各種プロジェクトを立ち上げ、継続的に教員の指導力の底上げを図る。
 今後も現状に満足せず、時代のニーズに合った教員研修で計画する。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
b 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
c 退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
e 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

<現状>

- a: 令和6年度卒業148名のうち若干名が未内定の状態で卒業を迎えることとなった。
- b: 令和7年3月卒業生の国試合格率は97.2%(147名中、143名合格)とトップクラスを維持している。
- c: 入学時から個人面談を定期的に行い、保護者との連携も図るが目標数値には達していない。
- d、e: 就職後の卒業生の動向については、元担任との関わりとSNSからの情報収集となっており、全体の把握には至っていない。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・国家試験全員合格は学校として重要な教育項目のひとつとして目標達成に取り組む。
- ・特に学科においては基礎学力の低下傾向が見られるため、早期での対応を行う。
- ・就職は早期退職を防ぐため、ミスマッチを避けたいが、サロンの面接時期の前倒しが起きている。
- ・退学者減少プロジェクトを立ち上げ、退学率の低減を強化する。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
b 学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
d 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
e 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
f 学生の学内生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
g 保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
h 卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
i 在校生への留学支援体制はあるか	④ 3 2 1

<現状>

- a: 就職担当を中心にDXを取り入れて、スマホでも学校からの求人情報の閲覧を可能とした。
- b: 基本は担任・学年主任を中心に行うが、必要であれば学校全体で対応するよう整備している。
- c: 経済支援奨学金を整備しているが、受給の基準が明確ではないため利用者は数少ない。
- d: 各クラス担任が学校日誌に記録をし、必要に応じて教職員全員に情報を開示している。
- e: 業界団体や業界紙、メーカー、ディーラーの支援の元で取り組みを行っている。
- f: 校舎の老朽化のため、徐々に修繕が必要な箇所が増えている。
- g: 保護者意見収集のための専用アドレスの公開。保護者に対しての一斉メールを実施している。

h: 求人紹介・資格取得(国試再受験支援)・就職相談・個別相談などを行っている。

i: 希望者には紹介する。積極的な推進はしていない。

<課題、今後の方策、特記事項>

・令和5年度より実施している新カリキュラムでは学生からの評判も良く、時代の変化と学生のニーズに合わせさらなる向上を目指していく。

・卒業生については、現状本人からの相談とSNSでの情報収集に留まっている。

・令和6年度より導入した教育型アプリsoeasyの活用があまり機能せず課題を残す結果となった。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
b 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
c 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

<現状>

a: Wi-fiは年度末に全フロアーへの完備を完了。令和6年度に全館照明をLEDに変更した。

a: 施設・設備の老朽化による壁紙、トイレ等の修繕に対応。

b: サロンでのインターンシップ研修を年間2回の実施に変更(1月と2月に各2日間)。

b: 海外研修はコロナ禍以降、5年振りにヨーロッパ(パリ)で実施。今後も研修内容と費用面を比較検討し継続していきたい。

c: 危機管理マニュアルを一部変更、防災訓練を実施した。

<課題、今後の方策、特記事項>

・将来の授業内容を視野に入れて、教室や備品整備と施設の修繕計画が必要である。

・令和の時代に合った学生生活の安心と安全を大前提とした環境の見直しが必要である。

・南海トラフ大震災の発生を前提とした避難場所としての備蓄品等の整備を計画する。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
a 学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
b 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
c 学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

<現状>

a: 学生募集活動は愛知県専修学校各種学校連合会の規程に沿って適正に行っている。

b: 教育成果は学校案内、HP、SNSを通じて正確に伝えている。

b: 高校内での業者企画のガイダンスにて在学生の状況を高校生に伝えている。

c: 授業料と教材費は物価の上昇により納入金の値上げを計画する。

<課題、今後の方策、特記事項>

・本校の特色である「美容師の育成に特化した売れる美容師の輩出」を明確にPRする。

・早期から2040年に向けた更なる少子化に対応できる募集力とブランディングの強化が必要である。

・近年減少していた男子の割合目標を2割としており、令和7年度生はこれを達成。継続していく。

・高校生のニーズに合った情報を発信。発信方法のアップデートを常に検討する。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
a 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
b 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
c 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
d 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

<現状>

- a: 予算執行、監査、及び財務の情報公開については、法人本部と連携し、適正になされている。
- b: 支出の抑制については、昨年度実績検証の上、できる限り予算を下回るよう努力している。
- c: 法人全体で内部監査を実施しており、令和6年度は衛生課の監査もあったが適切と通知された。
- d: 財務状況は、毎年HPおよび学園情報誌(コミュ)により公表している。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・支出は予算内執行をしているが、学校収入には上限があり、各事業を見直し支出の削減を要する。
- ・教育の質を下げないためにも財源の確保と奨学金の見直しが必要となる。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
a 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
d 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

<現状>

- a～d: 専修学校設置基準や関係法令の遵守を徹底し、適正な運営をしている。個人情報については利用目的を学生ハンドブックに周知しているが、SNSの利用等において完全ではない。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・法令遵守は学校運営の根幹であり、教職員の意識づけも含めて最優先課題と認識している。
- ・学生と学校側との関係性を考慮したアカデミックハラスメントの予防にも努める。
- ・リスクマネジメントの観点から予防策として学生への内部通報窓口の設置を計画する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	3	2	1
b 学生の地域ボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1

<現状>

- a: これまで検定試験の会場や「恋sコレクション」等の美容師普及活動に校舎を提供。
- b: JAPAN KIDS FASHION WEEK2024のヘアメイクとして参加。
- b: 非常勤講師が出演するヘアショーのヘアセットの裏方スタッフとして参加。
- b: 学校祭への来場者にヘアアレンジや模擬店による飲食を提供の実施をコロナ後、再開。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・災害時に地域の避難場所としての計画を行う。
- ・シャンプー台や撮影スペースを求めているサロンもあるので、施設貸し出しは検討していきたい。
- ・イベント参加は教員が時間外労働にならない様に労働時間管理を優先しながら実施を検討。

(11) 国際交流

<現状>

- ・現状、留学生の受け入れは行っていない。
- ・卒業後の留学制度はあるが、積極的な周知はされていない。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・海外をめざす在学生、卒業生への情報提供と支援の方法を検討する。
- ・コロナ禍に廃止したSASSOONスクールシップに代わる海外との提携を模索したい。